

おかなみ

名張市 積田神社

OKANAMI
vol.80
2026/10

対岸の火事ではなくなりました

副院長 心臓血管外科 家村 順三

網膜変性外来を開設します

特集 地域の医療を、未来につなぐために。

かかりつけ医と総合病院の
役割分担にご理解とご協力をお願いします



@OKANAMIHP
岡波総合病院Instagram

対岸の火事ではなくなりました

副院長 心臓血管外科 いえむら 家村 じゅんぞう 順三

慢性的な看護師(敬称略)不足は以前から言われていることでした。それでも今まで当院は何とかしのいできたところ、この春から一部の病棟を閉鎖しないといけない事態となりました。

日本全体で看護学校入学生は2018年以降減少に転じています。私の調べたところでは、看護大学、看護専門学校などで2018年の入学者数61,500名に対し、2025年では54,400名まで減少していました。特に、看護専門学校での定員充足率は79.5%と深刻な学生不足が生じています。人口減なら看護師のニーズも減るように思われるかもしれませんが、たしかに、伊賀名張地区の人口は2000年の186,000人から、2025年には159,000人まで減っています(これも行政としては問題ですが)。しかし、医療を必要とする世代である65歳以上の年齢層に限ると、約23,400人(23.0%)から、28,000人(34.5%)へと増加しているのです。

都市圏の医療は地方出身の看護師によって成り立っているとは、私が医者になったところから言われてきましたが、実際、若い人が都会を目指す当地域では看護師不足は深刻です。三重県の看護師数は2022年の統計で、10万人当たり1,085人(全国1,050人)と平均をやや上回っていますが、伊賀名張地区では863人と大きく下回っているのです。

人口減少や少子化で看護師を目指す人が減少するのは仕方のないことかもしれませんが、コロナ禍で看護師の奮闘が賞賛されたものの、そのような過酷な職業に子供を就かせたくないという親の感情も希望者減の一因と言われています。また大手企業の一般職や公務員の給料は毎年ベースアップされていきますが、財政の厳しい健康保険でまかなわれる病院勤務での昇給は少なく、以前は高給取りであった看護師(旦那は髪結いの亭主と揶揄された)ですが、平均給与は相対的に低下し、夜勤をしないと一般正規雇用者に満たない状況となってしまっていることも、厳しい仕事内容と間尺が合わなく、職業としての魅力が失われる理由でも

あるのでしょう。

看護師は看護師免許を取得したら終わりということではなく、医療についても看護についても多くのことを学び続けたいといけません。臨床実践能力向上教育(ラダー研修)も経験年数にかかわらず新人からベテランまで指導が行われています。また、医療事故を無くすための安全管理対策や感染対策で(転倒転落防止、誤嚥窒息予防、標準感染予防策、手指消毒、輸血、接遇などなど)、さまざまなマニュアルが存在しています。調べてみると、当院のそのような手順マニュアルは200以上あるのです。それぞれの内容を理解して、それに従って業務を遂行しています。一般の方には見えない、隠れた所での努力もされています。

臨床の最前線に立つ看護師は、患者さん本人やご家族、職場関係において、さまざまな対人関係にもさらされます。とくに現在の若い世代では、怒られることに対する免疫力は弱く、強いストレスを残してメンタル的な負荷を負ってしまう人が少なからず見受けられます。命を預かる限り、厳しい指導が必要な時もちろんあるのですが、心が折れないような配慮も必要で、ジレンマを感じることもあります。AIの発達で、今後の医療は激変するかもしれません。医師は知識ではAIに勝てなくなるので、重要度は相対的に薄れていくでしょう。アメリカの起業家であるイーロン・マスク氏に至っては、今後手術はロボットがするから、若い医師は外科医を目指さない方がいいとまで言っているようです。しかし、看護師の仕事はどうでしょうか。直接患者さんに接して看護し、寄り添うことができるのは、生身の人間の看護師であり続けられると思います。替わりとなるアンドロイドが安価にメンテナンスフリーで登場するには、まだまだ時間を要するでしょう。

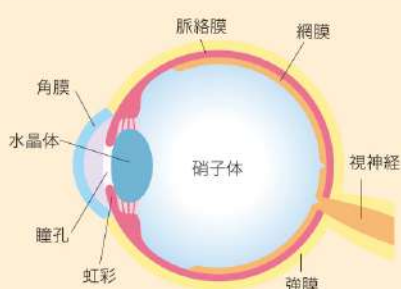
だいぶ昔には、看護師の社会的地位は低くみられ、悔しい思いをされたスタッフも多かったかと思います。現在は男女差も職業差もない時代になりました。病院の担当者は看護師確保

に看護学校巡りなど奔走していますし、院内では医療DXと言って、ほとんどのベッドは離床センサー付きに変更され、しゃべればカルテに文字として記載される(今のところ、変換間違いも多いですが)システムも導入されて、仕事量軽減にも努めています。小さなお子さんを預かる部署もあります。それでもなお、貴重な人材を充足できない状況になってきました。どうすれ

ば当地域で仕事をしてもらえるか、魅力ある職場にできるか、患者さんの笑顔を糧に、心折れずに続けてもらえるかなど、課題は尽きません。病院医療関係者のみでは限界と思われ、当地域の住民の皆さんにもご理解とご協力をいただいて、種々方策を模索していかないといけないと、危機感を募らせる昨今です。

網膜変性外来を開設します

眼科医長 尾崎 篤汰



遺伝性網膜変性疾患とは、目の奥にある網膜の視細胞などが徐々に障害され、暗い場所で見えにくくなる「夜盲」や、視野が狭くなる「視野障害」、視力低下などを生じる病気の総称です。代表的な疾患として、網膜色素変性があります。

近年、この分野では医療が大きく進歩しています。一部の患者では、網膜色素変性の原因となる遺伝子を調べる遺伝学的検査を受けることができます。また、特定の条件を満たす患者に対しては、RPE65という遺伝子の異常によって生じる遺伝性網膜疾患に対する遺伝子治療が保険診療で行われています。

網膜変性外来では、症状や各種検査の結果を総合的に評価し、必要に応じて遺伝学的検査や専門施設への紹介についてご相談いただけます。現時点ですぐに治療を行うことが難しい場合でも、定期的に経過を確認しながら、病気や新しい検査・治療に関する情報をお伝えします。夜間に見えにくい、視野が狭くなった、家族に同じような病気の方がいるなど、気になる症状がある方は、かかりつけ医を通じてご相談ください。



今井 元医師が「The Best Doctors in Japan 2026-2027」に選出

このたび、当院消化器内科部長の今井 元医師が、「The Best Doctors in Japan 2026-2027」に選出されました。同制度は、各専門分野の医師に「自身や家族の治療を任せたい医師」を尋ねる、医師同士の相互評価によって選出されるものです。今回の選出は、これまでの診療実績や専門性が高く評価されたものです。



■ 入職

令和8年7月1日 入職



まえかわ はやと
前川勇人 医師 整形外科

専門領域: 手の外科、一般外傷
取得資格: 日本整形外科学会専門医

このたび整形外科で勤務することになりました前川と申します。専門は手の外科、一般外傷です。地域医療に少しでも貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

令和8年10月1日 入職

わん そりん
王碩林 医師(内科)

すぎもと けいしろう
杉本啓史郎 医師(循環器内科)



病院機能評価の認定を受けました

当院は、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、認定を受けました。今回で5回目の認定となります。今後も、患者さんに安心して質の高い医療を受けていただけるよう、継続的な医療の質向上に取り組んでまいります。



特集 地域の医療を、未来につなぐために。

かかりつけ医と総合病院の 役割分担にご理解とご協力をお願いします

医師不足や高齢化が進む中で、地域の救急医療や医療体制は年々厳しさを増しています。

住み慣れた地域で、これからも安心して医療を受け続けられるように、医療機関それぞれの役割を理解し、連携していくことが大切です。



1 地域の救急医療が脆弱になっています。

救急搬送の件数そのものは増えていますが、伊賀地域の病院だけでは受け入れが難しく、地域外の病院へ搬送される患者さんが増えています。

伊賀地域から地域外へ搬送された救急患者さんの人数の推移

※伊賀市・名張市からの救急搬送のうち、地域外の病院へ搬送された人数

令和3年
593人

令和4年
683人

令和5年
645人

令和6年
688人

令和7年
758人

5年間で165人増加、約28%増加しています。



なぜ問題なの？

- ✓ 地域で医療が完結しにくくなっているというサインです。
- ✓ 搬送先が地域外になると、受け入れ先の調整や搬送に時間を要する場合があります。
- ✓ 地域の医療提供体制を維持していくための課題の一つとなっています。



2 総合病院は本来の役割を果たす必要があります。

総合病院は、命に関わる重症患者さんや、専門的な治療を必要とする患者さんを支える役割があります。救急医療、手術、入院治療などに十分な力を注ぐことが、地域医療を守ることにつながります。

岡波総合病院が担っている主な役割（令和6年度実績）

救急搬送件数
2,759件
(1日平均 約7.5件)



手術件数
2,597件
(1日平均 約7.1件)



入院患者延べ数
91,276人
(1日平均 約250人)



外来患者延べ数
127,802人
(診療日1日平均 約525.9人)



総合病院が本来の役割に専念することで、地域全体の医療を支えていきます。

3 かかりつけ医は、皆さんの身近で頼れる存在です。

日常の健康管理や体調の変化への対応、在宅医療や介護との連携など、地域で安心して暮らし続けるために、かかりつけ医は欠かせない役割を担っています。

総合病院の外来では、日常的な健康管理に限界があります

総合病院では、専門医が外来診療だけを行っているわけではありません。外来診療日以外には、検査や手術、入院患者さんの回診や病状説明、多職種によるカンファレンスなど、さまざまな診療業務を担っています。

また、専門外来は週1回など診療日が限られる場合があり、医師の異動や交代もあります。そのため、普段から患者さんの状態を継続して把握し、急な体調の変化に対応することには限界があります。

一方、かかりつけ医（地域のクリニックなど）は…

- いつもの先生が継続して診てくれる
- 普段の体調や病状の変化を把握している
- 体調の変化について相談しやすい
- 日常的な健康管理や慢性疾患の管理ができる
- 必要に応じて総合病院や専門医へ紹介できる
- 在宅医療や介護サービスとも連携できる

医療の連携の流れ（イメージ）



こんな時こそ、かかりつけ医が力になります

- ✓ 血圧や糖尿病などの慢性疾患の管理
- ✓ お薬の調整や副作用の相談
- ✓ 風邪や発熱など、日常的な体調不良
- ✓ 健康相談や予防接種
- ✓ 在宅療養のサポート
- ✓ 介護サービスとの連携
- ✓ 必要な時の専門医への紹介



必要な時には、いつでも総合病院へ

かかりつけ医では対応が難しい病気や、専門的な検査・治療が必要な場合には、総合病院へ紹介されます。

治療が終了し状態が安定すれば、再びかかりつけ医へ戻り、日常の診療を受けていただきます。

このように、それぞれの医療機関が役割を分担し、必要な時には連携することで、地域全体で患者さんを支えています。

よくあるご質問

Q. 総合病院の方が設備が整っているので安心では？

A. 岡波総合病院では、CT・MRIなどの検査は、かかりつけ医からの紹介により「検査のみ」のご利用も可能です。必要な検査や専門的な治療は総合病院が担当し、日常の健康管理はかかりつけ医が行います。

Q. 病状が悪くなったら、また総合病院で診てもらえますか？

A. はい。専門的な診療や治療が必要になった場合には、かかりつけ医から総合病院へ紹介していただくことができます。

Q. かかりつけ医では対応できない病気は？

A. 専門的な検査や治療、入院・手術などが必要な場合は、総合病院がその役割を担います。



地域医療を守る主役は、私たち一人ひとりで。

これから高齢化はさらに進み、医療の需要は増えていきます。地域の医療を未来へつないでいくためには、医療機関だけの努力では限界があります。必要なときには総合病院へ。普段の健康管理はかかりつけ医へ。この役割分担へのご理解とご協力が、地域医療を守る大きな力になります。





楽しみながら元気に！ 伊賀ゆめが丘の 集団リハビリ

介護老人保健施設伊賀ゆめが丘では、一対で行う個別リハビリに加え、複数名で楽しく参加できる「集団リハビリ」に力を入れています。集団でのリハビリは、他者との関わりを通じて心身に良い刺激を与える効果があります。病気や怪我の影響で身体を動かすににくい方であっても、賑やかな雰囲気に含まれると表情が和らぎ、思わず普段以上に身体が動き出すといった変化が見られることがあります。

私たちは、こうした「集団だからこそ引き出せる力」を大切に、ご利用者様の生活の質向上をサポートしています。



令和8年度 市民公開講座 開催について



「肥満症と健康美」 予約不要・無料

日時 令和8年11月14日(土)

受付 受付13時～ 講演13時30分～15時30分(予定)

会場 岡波総合病院 4階 講堂

第1部 肥満症と健康美

●13時30分～14時00分 総合診療科部長 石瀬 卓郎

第2部 健康寿命を延ばす運動習慣

●14時00分～14時30分 理学療法士 富田 陸

第3部 栄養の進め方～健康美を目指して～

●14時30分～15時00分 言語聴覚士 松生 陸



チームで守る、あなたの安心 —医療安全管理室の取り組み—

当院では、患者さんが安心して治療に専念できる環境づくりを目指し、医療安全管理室が中心となって「医療事故を未然に防ぐ」ための取り組みを日々行っています。本日は、私たちのチームの活動をご紹介します。

1. 現場の「気づき」を大切に するパトロール

私たちは定期的に院内を巡回しています。患者さんの取り違え防止や、転倒・転落のリスクがないか、スタッフの目線だけでなく、患者さんの目線に立って細かくチェックします。「いつもの風景」の中に潜む小さな危険を見逃さないことが、安全の第一歩です。



多職種で意見を出し合い、活発に議論しています

2. みんなで議論し、形に

医療の現場は、医師、看護師、薬剤師、技師、事務など、多様なプロフェッショナルで成り立ちます。私たちは定期的に集まり、現場での「少し気になること」を共有しています。ここでは「なぜ起きたか」を責めるのではなく、「どうすればもっと安全にできるか」を全員で議論し、改善策を形にしています。



私たちの目標

「安全な医療」は、誰か一人が頑張るものではなく、私たち職員全員の意識と、患者さんとの協力で形作られるものです。これからも、チーム一丸となって皆さまの安心を守り続けます。



知って安心 薬のはなし



お薬手帳はまだ現役です

お薬手帳は、皆さんが使用しているお薬の情報をまとめて記録しておく大切なものです。複数の医療機関を受診している場合でも、お薬手帳があれば、現在のお薬や副作用の情報を医師や薬剤師が確認しやすくなります。

最近では、スマートフォンのお薬手帳アプリを利用する方も増えています。持ち歩きやすく、手帳を忘れたり紛失したりした場合にも、お薬の情報を確認できるのが便利な点です。飲み忘れ防止のアラームなど、便利な機能を備えたアプリもあります。

おくすり手帳



一方で、スマートフォンの充電切れや通信障害、災害時などには情報を確認できないことがあります。紙のお薬手帳も、いざというときに役立つ大切な情報源です。自分に合った方法で、お薬の情報を大切に管理しましょう。



口腔 ワンポイント アドバイス



お口の機能、衰えていませんか？

- ☐ 固いものが食べにくくなった
- ☐ 汁物を飲むときに時々むせることがある
- ☐ 食後に口の中に食べ物が残りやすい
- ☐ 食事に時間がかかるようになった
- ☐ 食べこぼしが増えた
- ☐ 口の中が渇きやすい
- ☐ 薬が飲みにくくなった
- ☐ 舌が動かしにくい、話しにくい



こんな症状があてはまると「口腔機能低下症」のサインかもしれません。お口の機能の低下をそのままにしていると、食事や会話がしづらくなり、栄養状態や体力の低下、誤嚥などに繋がる可能性があります。



「年齢のせい」と思わず、気になる症状があれば、まずはかかりつけの歯科医院へご相談ください。一緒にお口の健康を守って行きましょう。



元気に夏の遊びを楽しみました

暑さに負けない位元気いっぱいな、なみっこ子どもたちは夏ならではの遊びを存分に楽しみました。虫歯予防デーで歯磨きの大切さを知ったり、時の記念日でなみっこ時計を皆で作って行事を楽しみながら知りました。

七夕では、なみっこの前に大きな笹を飾り子どもたちはもちろん、病院職員も短冊に願いを込め笹に飾りました。その笹を中心に「七夕まつり」が開催され、織姫様も登場し屋台も盛りだくさんで楽しい時間を保護者と一緒に過ごしました。

プールや氷遊びは子どもたちが大好きな遊びNo. 1!! 心地よさを感じながら子どもたちの笑い声が響き渡っていました。



診療担当表

(2026年10月)

診療受付時間は 8:30～11:30 です。予約日・検査日の変更連絡は、平日 13:00～16:00 をお願いします。(代表 0595-21-3135)

※他の医療機関からの紹介状をお持ちの方は、地域医療連携室にて事前にご予約が可能です。(直通 0595-21-3154 平日 9:00～17:00)

診療科	月	火	水	木	金
内科	松岡 信良	兼児 敏浩	松岡 信良	王 碩林	宮原 慶裕
	石瀬 卓郎	大石 晃嗣	加島 江美子	兼児 敏浩	戸田 泰信
	近藤 倫世	小倉 英	藤原 弘	八木 英次郎	笹間 達朗
	宮原 慶裕	岡本 隆二	塩谷 拓也	—	—
	—	—	重福 隆太	石瀬 卓郎	石瀬 卓郎
肝臓外来	—	—	—	藤原 直人	—
消化器内科	今井 元	村田 亮介	福井 淑崇	今井 元	福井 淑崇
呼吸器内科	—	岩中 宗一	井上 登太	—	西井 洋一
循環器内科	猪木 達	熊野 雄太	植木 博之	八木 英次郎	杉本 啓史郎
	宮田 和明	—	—	宮田 和明	—
糖尿病外来	—	—	—	—	矢野 裕 (再診のみ)
外科	村瀬 貴昭	大澤 亨	担当医	大澤 亨	—
	問山 裕二	福浦 竜樹	—	福浦 竜樹	福浦 竜樹
呼吸器外科	—	—	加納 收 (1.3.5週) 川口 晃司 (2週) 川口 瑛久 (4週)	—	—
乳腺外来	—	—	—	—	眞鍋 弘暢
肝胆膵外科	—	栗山 直久 (1.3.5週) 村田 泰洋 (2.4週) (再診のみ)	—	—	—
整形外科	前川 勇人	杉岡 修平	中西 昭登	中西 昭登	前川 勇人
	杉岡 修平	赤羽 開	西本 有岐	赤羽 開	西本 有岐
	中山 俊介 13:00～15:30 (予約のみ)	鍛冶 大祐 13:30～15:30 (予約のみ)	田中 誠人 (予約のみ)	花岡 義文 (予約のみ)	篠原 靖司 (予約のみ)
心臓血管外科	—	家村 順三	—	神原 篤志	鳥羽 修平 (第4週 再診のみ)
脳神経外科	乾 多久夫	岡本 知也	砂田 拡	乾 多久夫	村上 敏春
	—	—	—	富田 斗真	—
泌尿器科	藤本 健	藤本 健	直井 牧人	当番医師 9:00～10:30	藤本 健
	岩井 哲郎	直井 牧人	久保 伊澄		久保 伊澄
小児泌尿器科	森澤 洋介 (第1・3週)	—	—	—	—
小児科	宮原 雅澄	大崎 慶子	中 夏実	宮原 雅澄	大崎 慶子
婦人科	倉井 信夫	倉井 信夫	倉井 信夫	川口 龍二	倉井 信夫
耳鼻咽喉科	間島 雄一	—	出口 峻大	鈴木 美聡	—
麻酔科	—	—	—	中川 洵	—
放射線科	寺内 一真	寺内 一真	寺内 一真	寺内 一真	寺内 一真

完全紹介予約制 (必ず紹介状が必要となります。地域医療連携室にてご予約お取りします。)

脳神経内科	早川 嘉彦 午後のみ	佐々木 良元 第4週	—	—	佐々木 良元
眼科	三羽 晃平	尾崎 篤太	三羽 晃平	尾崎 篤太	尾崎 篤太
	新家 麻華	新家 麻華	尾崎 篤太 網膜変性外来(第1週) 13:00～15:30 森 純直 斜視外来(第2.4週) 12:00～16:00	三羽 晃平	新家 麻華
皮膚科	—	市川 彩夏 9:30～13:30	—	馬岡 愛	—
小児アレルギー外来	—	—	大崎 慶子 14:30～16:30	—	—
歯科口腔外科	前田 雅彦	前田 雅彦 (再診のみ)	前田 雅彦	前田 雅彦	前田 雅彦
	服部 由佳 9:00～15:00	中村 泰士	—	—	—

受付時間 8時30分～11時30分

社会医療法人 畿内会 **岡波総合病院**

〒518-0121 三重県伊賀市上之庄2711番地1

TEL 0595-21-3135 (代)

FAX 0595-21-5237 FAX 0595-21-3145 (地域医療連携室)

URL <https://www.okanami.com/>

E-mail info@okanami.com

岡波総合病院デイセンター TEL 0595-24-4316
介護老人保健施設 **おかなみ** TEL 0595-23-7111
介護老人保健施設 **第2おかなみ** TEL 0595-24-6300
介護老人保健施設 **伊賀ゆめが丘** TEL 0595-21-7322
居宅介護支援事業所 **おかなみ** TEL 0595-21-8000
訪問看護ステーション **おかなみ** TEL 0595-24-6355
訪問リハビリテーションセンター TEL 0595-41-0323
岡波看護専門学校 TEL 0595-21-3138